

『JAにしたま』自己改革取組宣言

組合員および地域の皆さまから評価をいただけるJAをめざし、「生涯お付き合いいただける組合」として、『JAにしたま』は総合事業を展開します。

「未来へ続く東京農業の確立」と「未来を担うJAの経営力強化」の方針のもと、「農地の保全」、「農業の担い手の維持と拡大」に取り組みます。

そして、「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

- JAは、農業者が組織する協同組合です。協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いを叶えていく組織です。
- 「農業者の所得向上」や「地域農業の振興」を目的に、農産物販売・信用事業（JAバンク）・共済事業（JA共済）など多様な事業を総合的に結びつけ、農業振興や地域づくりに取り組んでいます。
- 農業者以外の地域住民の方は、JA各事業をご利用いただくことにより、地域農業の発展と地域づくりの活動につながっています。JAファンの位置づけとして准組合員にご加入いただいております、地域農業の応援をいただいております。
- 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで運営しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農事業や農業関連施設・設備への投資が可能となります。

総合事業による営農指導事業の予算（3,000万円）

当JAの主な取り組みは、次のとおりです。

- ・農地を残すため、生産緑地の保全や特定生産緑地の指定促進をします。
また、組合員学習会を開催し、農地を残せる相続相談活動を展開します。
- ・ポイントカードの活用や品揃えの評価により、直売所販売高1%増をめざします。
- ・共同利用のできる農業用機械の充実を図り、耕作支援の仕組みを検討します。
- ・学校給食使用野菜の原料に対する地場産野菜の割合を高めることに努め、学校給食提供野菜の供給量1%増をめざします。
- ・新規就農者、Uターン就農者など担い手の維持、拡大を図ることのできる営農技術の支援に取り組みます

その他の取り組みは、第31回総代会資料や広報誌「かたらい」、ホームページのJAにしたま3カ年計画（工程表）をご覧ください。

上記予算のほかにも、自然災害および不測の事態に支出する支援金等に備えている災害支援等積立金（3,000万円）があり、次期繰越剰余金には営農指導、生活・文化改善事業に充てるための繰越額（2,500万円）が含まれております。

西多摩農協は

地域農業を支援しています！



都内で特産シクラメンをPR

その1 農家の所得アップを支援！



農産物の販売アップ！



直売所で新鮮野菜を販売



お得なポイントカード



農家の技術アップ！



営農指導員が栽培アドバイス



生産コストダウン！



肥料を一括仕入れで安価で提供

その2 農業の力で地域貢献・農業の魅力を地域に発信



地場産野菜
を学校給食に！



JAが納品をサポート



地元産の花で
ガーデニング教室！



生活に潤いを提供



農業体験イベント
で土に触れる機会を！



農業の大切さを伝えます



東京狭山茶をPR



手もみ茶の出前授業

さらに詳しく…

JAにしたま

